

特集

新規就農者 & 町議会

町の新規就農者の皆さんにお集まりいただき、農業の魅力、瑞穂町の良いところなどを語っていただきました。

経済的な豊かさには代わる何かを見つけないと、それを人に伝えていきたい



Q 農業のどんなところに魅力を感じますか？

- 家族と一緒に働ける。
- 健康的な生活ができる。
- 自然とともに生活ができる。
- 自分が育てた作物ができた喜びをお客さんと共有できる。
- 自分で考えて、判断して、行動して…そうした工程が楽しい。
- 自分で思ったように取り組める。(失敗しても自己責任)

Q どうして瑞穂町で農業を始めようと思ったのですか？

- 農業体験をさせていただいた方が「瑞穂町は役場も人もすぐ受け入れてくれるよ」と一押しで紹介してくれたから。
- 女性一人でも農業をできる場所はないかと探していたら、農業会議の方が「瑞穂町が良いよ」と紹介してくれたから。
- 「林みたいなところだけど開墾したら」と無料で土地を貸してくれて、気持ちよく受け入れてくれた。
- 元々自分は料理人でしたが、自分で食材を作ってみたくて、瑞穂の町民農園を利用してたんですけど、もっと広い畑でやりたくなった。

Q 瑞穂町の良いところは？印象は？

- 町の職員の方が自分の名前をちゃんと覚えてくれるし、頻りに連絡をくれます。役場と自分との距離間がすごいコンパクトでもいいなあと思った。
- 世話焼きしてくださる方がとにかく多い。畑が見つかる、住む家を貸してくれる、お茶のみに誘われる、などなど、困ったことがない。
- 人とのつながりが温かい。野菜を作っていると知ったら、買ってくれたり、お客になってくれたり。



左から 井垣美穂さん 井垣貴洋さん 井上祐輔さん 中居樹里さん 大塚 弘さん 佐藤成慶さん

— 畑にいと、いろんな方が声をかけてくれる。夏のある日、暑いからといって3人の方からスイカを丸々2個ももらったことがあった。野菜の作り方も親切に教えてくれ、とてもうれしかった。

— 第一線で農家をされているからか、お年寄りの方がとっても元気。

Q 農業って大変だなあと思ったことは？

- 色々ありすぎる…(笑)
- あの去年の大雪には参った。納品するために、畑の雪かきがとにかく大変だった。同じ場所と同じ作付けをしても、年によって出来が違ったり、大雨でせっかくまいた種が流されてしまったり。
- お天気に左右される。
- サラリーマンの時、いかに会社を守られていたかを認識した。年金とか…保険とか…、自分の収入から自分で支払いをするときの負担感をすっしり感じる。
- 体が資本であることをしみじみ感じた。インフルエンザにかかった時、働き手が足りないことに気が付いて…。子どもの運動会で、主人が肉離れをおこした時もそうでした…。

Q 小さなころの夢は何でしたか？

- おもちゃ屋さん。おもちゃに囲まれていたかった。
- オリンピックの選手。そのあと画家になりたかった…かな。わたし…欲張りなんです。
- 時計を作る人。
- おばあちゃんになったら、農家の人にな

りたかったかなあ。

— 吉本興業に入って、間寛平の弟子になりたかった。だからかな？最近、娘がお笑い芸人になりたいって言ってます…。

Q 議員や議会ってどんな印象ですか？

- 議員はかなり遠い存在だった。瑞穂に来たら、紹介されたりする機会があって、身近に感じるようになった。親近感が出てびっくり。選挙も行くようになった。
- 全く関心もなかったし、無関係と思っていた。でも、就農してからは、議会では農業の事どう考えているか気になって、「だより」を読むようになった。
- 以前住んでいたところで、母が議員さんに大変お世話になった。だから、ありがたい存在と思っている。
- 農業に携わるようになったせいか、住んでいる地域が身近になって、議会のことにも身近に感じるようになった。

Q 今後の夢を教えてください。

- 農業収入で自立すること。
- 自分が作った野菜で人を喜ばせることがしたい。
- 作物を出荷するだけでなく、ばく然ですが…何か形にしたい。
- さらに広げてやっていきたい。
- 農業を長く続けていきたい。
- 経済的な豊かさには代わる何かを見つけた。そして、それを人に伝えたい。
- 新規就農者の皆さん、ご協力ありがとうございました。